



— ご支援のお礼 —

同窓生、企業の皆様、地域の皆様、本学学生の保護者の皆様には、日頃から室蘭工業大学へのご支援、ご協力をいただきまして誠に有難うございます。

室蘭工業大学は、平成31年4月に大学設立以来初めて、それまでの工学部から理工学部へと改組し、その卒業生を一昨年度から世に輩出し始めたところです。地域に根ざす理工系単科大学として、「北海道の課題解決は、日本の、更には世界の課題の解決につながる」と考えて、研究力の向上及び社会との共創推進のために必要な、教育改革・大学改革に取り組んでおります。

本学の理念は「創造的な科学技術で夢をかたちに」ですが、今年度からはこの理念のもとに、「真なる探究心から未来の価値づくりを」を、新たなキャッチコピーとして標榜しております。「価値づくり」の「価値」としては、工学的にはハードウェアだけではなくソフトウェアも含む「もの」が、理学的には原理探求によって得られた「知見」が、それぞれの成果物として該当するかもしれません。また、「未来の」の部分には、直近から数十年後までの時間的な広がり、地域・北海道から日本・世界までの空間的広がりを持った「未来」という意味を込めています。「真なる探究心」の「真なる」は、どんなささやかで興味本位なものであっても、最終的には「価値」へといつか繋がるような、本質的なものであってほしいという願いです。教育研究に携わる教職員の立場だけではなく、学生の立場からも将来への志として、このキャッチコピーが使われると良いと思うとともに、本学は今後もずっと、社会に対して未来の「価値づくり」をする場でありたいと強く願っております。



理工学部カリキュラムにおいては、ICTやAIの本質を理解して使いこなし、ものづくり・価値づくりに貢献できる学生諸君を育てる、理工系大学ならではの理数教育と情報教育を推進しています。全学必修の手厚い情報教育を行うことで、令和3年度からは文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の認定を得ています。また、大学院博士前期課程（MC）においても、情報系の共通の必修科目、そしてコースごとにその特徴を活かした情報科目の充実を目指したカリキュラム改革を行なっています。さらにこの4月からは、情報電子工学系専攻内に新たに「共創情報学コース」を開設しました。このコースは、「色々な専門分野と共に創る情報学」というコンセプトのとおり、情報学が異なる学問分野や専門領域を飛び越えて、様々な専門知識や方法論を組み合わせる昨今の複雑な問題に取り組み、新たなアイデアや解決策を生み出していく学生を育成するコースとして設計されています。そのため、入学者の多くは、必ずしも情報分野に限らない全ての理工学系諸分野学部卒業生であり、またMC修了後の就職先についてもその学生の学部時代の専門教育学修を活かす形で、産業界のすべての分野と想定しています。このように、いわば、「専門×情報」という分野融合型の高度な理工系人材の育成は、本学においては、学部、大学院カリキュラムを通じた、一貫した育成方針となっております。本学の教育・研究振興会に寄せられた寄附金についても、この趣旨に沿って、学生や大学院学生（若手研究者）に対する経済的支援を重点的に行うとともに、研究活動支援を進めてまいります。

ご支援に対して改めて心より感謝の意を表すると共に、今後も室蘭工業大学の活動を注視して頂きますようお願い申し上げます。

国立大学法人室蘭工業大学長

松田 瑞史

令和5年度 室蘭工業大学教育・研究振興会 支援事業実施状況

● 成績優秀者への奨励

当該事業は、修学支援基金設置前からのものであり、全学生の学力レベル向上に資することを目的に設けた「室蘭工業大学優秀学生奨励金」制度に基づき、令和5年度は、学業及び人物共に優れている学部生26名、大学院博士前期課程13名に奨励金を給付しました。



● 経済的困窮学生支援

「経済的困窮学生への支援」については、大学院博士前期課程への進学者20名（入学料免除を申請した者のうち、学部時代の成績優秀者上位者）に対して、入学料半額分を給付しました。

「緊急採用奨学金（家計の急変等により授業料等の納付が困難になった卒業（修了）予定者への支援）」については、該当者がおりませんでした。

学生の海外渡航支援について、室蘭工業大学では令和2年度に、学生の海外における論文発表や研究プロジェクト参加、インターンシップ活動を支援するため、「ムロラン・グローバル・ステージ・チャレンジ奨学生」制度を創設しました。当該制度により奨学生となった学生に対して、学生等修学支援事業へご寄附いただいた寄附金の一部を支給する仕組みになっております。令和5年度は、1名に対して支援を行いました。

● 国際交流活動支援

国際交流センターを中心に、留学生数の増加及び学術交流協定校の拡充等を積極的に推進しており、振興会ではこれらの活動に対し支援を行っております。令和5年度は、短期留学生5名、私費留学生4名に対して奨学金を給付しました。

留学生数については、平成20年度から私費外国人留学生に対し、振興会支援による本学独自の奨学金を支給しており、平成21年4月は100名（前年同期74名）と大幅に増加しました。令和6年5月現在の留学生は164名となっています。

留学生に対する支援は、令和6年度から振興会からの支援は終了し、他の制度による支援へと変更となります。なお、今後も、学生等修学支援事業や研究等支援事業において、留学生を含めた学生を対象として支援していきます。

令和6年度 室蘭工業大学教育・研究振興会 支援事業計画

事業名		予算額（円）	支援の対象及び人数・金額等
学生等修学 支援事業 (基金)	a 経済的困窮学生 支援（給費）	5,640,000	入学料の半額支援（博士前期課程） @141,000円/年×40人=5,640,000円
	b 緊急採用奨学金	—	—
	c 経済的困窮学生 に係る海外渡航支 援（給費）	800,000	海外渡航支援金 @80,000円/回×10人=800,000円
研究等支援 事業 (基金)	a 学士修士一貫教 育プログラム学生 支援	3,400,000	海外派遣支援 @150,000円×6回 特別研究費支援 @100,000円×24人 相棒型地域PBL実施支援 @100,000円
成績優秀者 奨励事業	成績優秀者への奨励 金（給費）	400,000	学部及び博士前期課程 @10,000円/年×40人=400,000円
合 計		10,240,000	

● 税制上の優遇措置

室蘭工業大学教育・研究振興会へのご寄附には、税制上の優遇措置が適応されます。ご入金いただきますと「領収書」をお送りします。「領収書」は確定申告等に必要となりますので、大切に保管してください。

法人からのご寄附の場合

寄附金の全額を法人税法上の損金に算入することができます。

個人からのご寄附の場合

◆**所得税の優遇措置**：2,000円を超えるご寄附は翌年の確定申告の際、寄附者の選択により、「税額控除」または「所得控除」を受けることができます。

(1) 税額控除制度… (寄附金額_{※1} - 2,000円) × 40% = 控除対象額_{※2} ⇒ 所得税額から控除

※1 寄附金支出額が、総所得額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄附金となります。

※2 控除対象額は、所得税額の25%までとなります。

(2) 所得控除制度… (寄附金額_{※3} - 2,000円) × (所得に応じた) 税率 ⇒ 所得税額から控除

※3 控除を受けられる寄附金額は、総所得金額等の40%を限度とします。

◆**住民税の優遇措置**：

室蘭工業大学への寄附金を寄附金税額控除の対象として条例で指定している都道府県（北海道、室蘭市、登別市、伊達市）にお住まいの方は、個人住民税の寄附金税額控除（最大10%）を受けることができます。

室蘭工業大学の理念と目標

— 創造的な科学技術で夢をかたちに —

● 理 念

室蘭工業大学は、自然豊かなものづくりのまち室蘭の環境を活かし、総合的な理工学教育を行い、未来をひらく科学技術者を育てるとともに、人間・社会・自然との調和を考えた創造的な科学技術研究を展開し、地域社会さらには国際社会における知の拠点として豊かな社会の発展に貢献します。

● 目 標

[教育]

- 1 室蘭工業大学は、学生一人ひとりの多様な才能を伸ばし、幅広い教養と国際性、深い専門知識と創造性を養う教育を行います。
- 2 室蘭工業大学は、総合的な理工学に基づく教育を展開し、未来をひらく創造的な科学技術者を育成します。

[研究]

- 3 室蘭工業大学は、真理の探究と創造的な研究活動を推進し、科学技術の発展に貢献します。
- 4 室蘭工業大学は、地球環境を慈しみ、科学技術と人間・社会・自然との調和を考えた研究を展開します。

[社会・国際貢献]

- 5 室蘭工業大学は、学術研究の成果を地域・国際社会へ還元するとともに、産官学連携を推進し、豊かな社会の発展に貢献します。
- 6 室蘭工業大学は、国際的な共同研究や学術交流を積極的に推進し、世界の発展に貢献します。

[運営]

- 7 室蘭工業大学は、絶えざる発展を目指し、自主自律と自己責任の精神をもって大学運営にあたります。
- 8 室蘭工業大学は、開かれた大学として情報を積極的に公開し、社会への説明責任を果たします。

室蘭工業大学教育・研究振興会に関するお問い合わせは

室蘭工業大学総務広報課総務係

〒050-8585 室蘭市水元町 27 番 1 号
TEL 0143-46-5014 FAX 0143-46-5032

「室蘭工業大学教育・研究振興会」
ホームページ

